

平成30年度行政事業レビューシート ( 復興庁 )

<b>事業名</b>	福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金(共同利用施設(ロボット技術開発等関連)整備事業)			<b>担当部局庁</b>	復興庁	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成31年度	<b>担当課室</b>	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	山口 浩孝		
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	福島復興再生特別措置法第81条～第89条			<b>関係する計画、通知等</b>	○イノベーション・コースト構想(平成26年6月) ○福島イノベーション・コースト構想に係るロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設(ロボット)の整備及び運営に関する協定(平成28年1月) ○「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針について」(平成28年12月) ○「福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律」(平成29年5月) ○「経済財政運営と改革の基本方針2017」(平成29年6月) ○「未来投資戦略2017」(平成29年6月) ○「福島復興再生基本方針」(平成29年6月) ○「重点推進計画～世界に誇れる福島の復興・創生の実現～」(平成30年4月)				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	福島県浜通り地域において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを継続して創出する環境を整備する。この実現に向け、ロボット分野等の先進的な共同利用施設の整備、設備等の導入等を行い、国内外の研究者が継続的に駐在し、基礎的・基盤的な研究を実施できる環境とともに地元企業等への技術指導・技術力向上のための試験設備等を整備し、福島県浜通り地域においてロボット分野に関する新技術・新産業の創出を目指す。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	①多様なロボットの試作や基礎性能試験評価に係る高精細加工設備や試験設備、屋内ロボットの標準的な試験設備を兼ね備えたロボットに関する基盤技術・要素技術開発を行うテストフィールドとの機能連携が可能な国際産学官共同利用施設を整備 ②地元企業等へのロボットに関する技術・ノウハウの移転・蓄積のための技術指導や、国内外の研究者が宿泊しつつ共同研究等の実施及びワークショップの開催なども可能な機能も合わせて整備するための整備費等 に対して補助する。 [補助率] 経済産業省 → 福島県 定額(10/10)								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	-	▲1,970	▲170	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	78	79	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲78	▲79	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	123	1,110	1,846	3,093		
	執行額	-	93	925	-	-			
	執行率(%)	-	76%	83%	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!	46%	83%	-	-				
<b>平成30・31年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	整備費	1,767	3,093	拠点施設の整備の進捗等により増額					
	計	1,767	3,093						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	国内外の企業・研究者によるロボット関連技術開発共同利用施設、地元企業への技術指導等について、平成32年度までの利活用件数600件。	国内外の企業・研究者によるロボット関連技術開発共同利用施設、地元企業への技術指導等の利活用(のべ)日数、件数	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	600
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	年間稼働日数 約250日×3年間×利活用率80%								
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	国際産学官共同利用施設の整備数	活動実績	-	-	-	-	-		
		当初見込み	-	-	-	-	1		

単位当たりコスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	執行額／国際産学官共同利用施設の整備数	単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
		計算式	/	-	-	-	-	

政策評価	政策	IV. 中小・地域							
	施策	5. 福島・震災復興							
	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	
目標値	-	-	-	-	-	-	-		

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

本事業により整備されるロボット関連技術開発共同利用施設を利用して地元企業に技術指導等を行うことにより、福島県浜通り地域でイノベーションが継続して創出される環境を整備し、ロボット分野に関する新技術、新産業の創出に寄与する。  
 なお、これらイノベーション・コースト構想関連事業は政府方針等に復興施策として位置づけられており、本事業を着実に推進することにより、福島県浜通り地域の広域的かつ自立的な経済復興の早期の実現を図る。

(参考)「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針」(平成28年12月20日閣議決定)

3. 新たな生活の開始に向けた取組等を拡充する

(1) 中長期・広域の将来像

① 中長期・広域の将来像

(略)特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の機器としての活用も期待される災害用ロボットの開発への貢献にも資するロボット研究・実証を行うため、ロボットテストフィールドや国際産学共同利用施設の整備を着実に進める。加えて、浜通り地域における産業集積の実現に向けて、実用化開発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活かした交流人口の増加、浜通り地域に進出する企業に対する支援により、新たな企業の呼び込みを図る。(略)

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
	-								

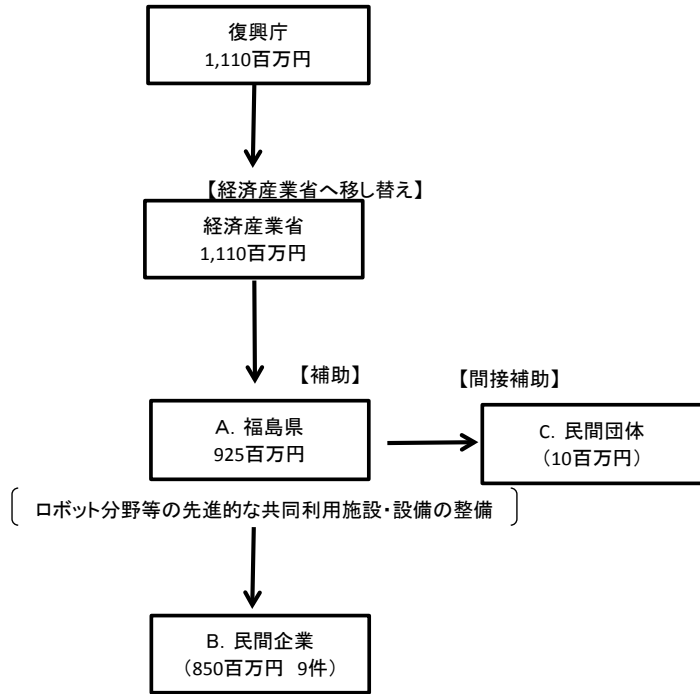
事業所管部局による点検・改善

国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	平成26年12月に発足した、高木経済産業副大臣を座長とし、福島県知事、地元自治体の首長、有識者で構成される「イノベーション・コースト構想推進会議」において、平成27年6月、構想の実現に向けた議論の整理がなされ、ロボットテストフィールドと国際産学官共同利用施設について事業化していくことが決定した。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	福島浜通り地域の復興のために、ロボットの開発・実証拠点を整備しつつ内外の研究者を集めることは、国主導で実施することが必要。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針(平成28年12月20日閣議決定)等において、福島イノベーション・コースト構想の推進が掲げられており、本事業を速やかに推進する必要がある。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	当事業は福島県が整備主体となることが決定しており、今後設計及び施工に当たり、国際競争入札を含め、広く民間企業等を対象として公募を行うため、競争性は確保される。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有				
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	国が策定した福島イノベーション・コースト構想に基づく施設として、福島県が整備することとされており、受益者との負担関係は妥当。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	外部有識者で構成される委員会での評価を踏まえつつ、事業に必要な経費を精査しており妥当。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	必要な経費のみを計上している。			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	採択に当たっては、外部有識者から成る委員会での評価を踏まえ、事業目的に沿った施設の整備に限定している。			
事業の有効性	利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	事業規模が予定を下回ったこと等のため。			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	共同利用施設の利用者を対象とした研修棟の整備にあたり、地元事業者等との調整に不足の日数を要したため			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	ロボットテストフィールドと一体的に効率的運営を行うための法人を設立。			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-				
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	委員会においてニーズを把握し、必要な施設を整備することとしている。			
点検・改善結果	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	ロボットテストフィールド研究棟本館部分の整備は製造局が担当している。(担当省庁:経済産業省、事業番号:0127、事業名:イノベーション・コースト構想(ロボットテストフィールド・研究開発拠点整備事業))			
	点検結果	多くの産業を支える基盤が喪失した福島県浜通り地域において、新たに開発される廃炉技術等も活用しつつ、新技術・新産業の創出を図ることが重要。そのため、福島県浜通り地域において、ロボット技術に関する浜通り地域内外の研究者、技術者、企業等が共同研究を行い得る環境を整備するとともに、地元企業等へのロボットに関する技術・ノウハウの移転・蓄積のための技術指導等を行う拠点として、国際産学官共同利用施設を国が主導し、国費(定額)により整備することは適切である。					
改善の方向性	本事業の目標達成に向けて、点検項目の評価を維持していく。						
<b>外部有識者の所見</b>							
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>							
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
通現り状	今年度の執行状況も見据えながら、適切な執行に努める。						
<b>備考</b>							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	新28-0005		
平成29年度	復興庁 ( 0133 )						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」に  
おいてブロックご  
とに最大の金額  
が支出されている  
者について記載  
する。費目と使途  
の双方で実情が  
分かるように記  
載)

A.福島県			B.関場・藤特定建設工事共同企業体		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
整備費	共同利用施設の整備	850	工事請負委託費	研究等整備(電気)工事	605
運営費	共同利用施設の運営	65			
運営費(間接補助)	ロボット開発・実証拠点運営費	10			
計		925	計		605
C.(一財)福島イノベーションコースト構想推進機構			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
運営費(間接補助)	ロボット開発・実証拠点運営費	10			
計		10	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	共同利用施設の整備・運営	925	補助金等交付	-	-	

## B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関場・藤特定建設工 事共同企業体		ふくしまロボットテストフ ィールド研究棟(仮称)整備(建 築)工事	605	一般競争契約 (総合評価)	-	--	
2	伊藤冷機工業(株)	8380001015489	ふくしまロボットテストフ ィールド研究棟(仮称)整備(空 気調和)工事	74	一般競争契約 (総合評価)	-	--	
3	光洋・三浦特定建設 工事共同企業体		ふくしまロボットテストフ ィールド研究棟(仮称)整備(電 気)工事	53	一般競争契約 (総合評価)	-	--	
4	セントラル住設・山元 特定建設工事共同 企業体		ふくしまロボットテストフ ィールド研究棟(仮称)整備(給 排水衛生外)工事	46	一般競争契約 (総合評価)	-	--	
5	山本堀・URリンケー ジ設計共同体	9011001044695	ロボットテストフィールド研 究開発等施設及び国際産 学官共同利用施設(ロボッ トテストフィールド等	32	随意契約 (企画競争)	-	-	
6	パシフィックコンサル タンツ(株)	8013401001509	整備事業全体実施設計等 業務委託	29	一般競争契約 (総合評価)	-	--	
7	山本堀・URリンケー ジ設計共同体		発注意図伝達・施工監理 (研究棟)	7	一般競争契約 (総合評価)	-	--	
8	(株)地質基礎	5380001013355	ロボットテストフィールド等 地質調査業務委託	3	指名競争契約 (最低価格)	-	-	
9	一般財団法人ふくし ま市町村支援機構	8380005000181	福島ロボットテストフ ィールド積算業務委託	1	一般競争契約 (総合評価)	-	--	

## C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)福島イノベ ーション構想推進機構		ロボット開発・実証拠点運 営	10	補助金等交付			